

平成 24 年度

公立大学法人静岡文化芸術大学
事業報告書

平成 24 年度公立大学法人静岡文化芸術大学事業報告

平成 24 年度の事業については、中期計画の達成に向け、これまでの事業内容と進捗状況を検証し、本学の将来を見据えて、教育の充実、学生支援の充実、研究の推進、地域貢献及び国際交流の推進、FD・SD活動の推進等を重点に置いて、次のとおり実施した。

1 法人運営管理

(1) 役員会、経営審議会、教育研究審議会及び参与会の開催等

ア 役員会

役員会を 12 回開催し、法人及び大学の管理・運営に関する事項を審議した。

回数	開催日	議案等
第1回	4 月 11 日	・施設等の管理及び使用規程の一部改正 ・就職委員会規程の廃止
第2回	5 月 9 日	・受託事業 (協議事項) ・平成 23 年度 年度実績について
第3回	6 月 26 日	・平成 23 年度事業報告及び決算報告(財務諸表等) ・平成 23 年度実績報告 ・授業料等の減免に関する規程の一部改正 ・情報セキュリティポリシー(案) ・理事長の専決処分の承認(客員研究員に関する規程の制定) ・受託事業
第4回	7 月 11 日	・知的財産ポリシーの制定 ・図書館・情報センター委員会規程の一部改正
第5回	9 月 12 日	・専任教員の採用 ・大学共同授業における非常勤講師の委嘱 ・受託事業
第6回	10 月 10 日	・(仮称)英語・中国語教育センターの設置 ・教員の任期等に関する規程の制定 ・教育課程改正に伴う設置科目数等の取扱方針 ・特任講師の採用募集 ・理事長の専決処分の承認(非常勤講師の委嘱)
第7回	11 月 14 日	・安全衛生管理に関する規程の一部改正 ・受託事業 ・非常勤講師の委嘱

第8回	12月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度予算編成基本方針 ・平成24年度目的積立金取崩事業 ・任期付教員の採用に伴う規程の制定及び一部改正 (任期付教員身分等取扱規程(制定)) (職員就業規則(一部改正)) (職員退職手当規程(一部改正)) ・大学院文化政策研究科の教育課程の改正 ・大学院学則の一部改正 ・情報セキュリティ対策基準案 ・理事長の専決処分の承認(専任教員の任用方法) ・専任教員の任用
第9回	1月9日	<ul style="list-style-type: none"> ・非常勤講師の委嘱 (協議事項) ・平成25年度 事業方針(未定稿)
第10回	2月13日	<ul style="list-style-type: none"> ・ブルゴーニュ大学国際フランス語センター(CIEF)との交流協定締結 ・任期付教員の採用 ・非常勤講師の委嘱
第11回	3月6日	<ul style="list-style-type: none"> ・諸規程の一部改正 (職員就業規則) (特任教授に関する規程) (客員教授に関する規程) (招聘客員教授に関する規程) (非常勤講師に関する規程) (特別講師に関する規程) (期間契約職員就業規程) (嘱託職員等就業規程) (非常勤職員就業規程) (職員給与規程及び教員給与規程) (職員退職手当規程) (ハラスメント防止に関する規程) ・非常勤講師の委嘱 (協議事項) ・平成25年度 事業方針案 ・平成25年度 当初予算案 ・平成25年度 年度計画案 ・デザイン学部・学科の再編成案

第 12 回	3 月 27 日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 25 年度 事業方針案 ・平成 25 年度 年度計画案 ・平成 25 年度 事業計画案 ・平成 25 年度 当初予算案 ・デザイン学部・学科の再編成案 ・大学院学則の一部改正 ・英語・中国語教育センター設置に伴う規程の制定及び一部改正 (学則(一部改正)) (英語・中国語教育センター規則(制定)) (組織規則(一部改正)) (文書規則(一部改正)) (施設等の管理及び使用規程(一部改正)) (英語・中国語教育センター長の任期及び選任に関する規則(制定)) (職員就業規則(一部改正)) (教育研究審議会規程(一部改正)) (将来構想検討委員会規程(一部改正)) (退職手当規程(一部改正)) (事務決裁規程(一部改正)) ・期間契約職員就業規程の一部改正 ・学内委員会に係る規程の一部改正 (広報委員会規程) (入学者選抜に関する規程) ・非常勤講師の委嘱 ・懲戒処分の公表基準
--------	----------	---

イ 経営審議会

経営審議会を 6 回開催し、法人及び大学の経営に関する重要事項を審議した。

回数	開催日	議案等
第1回	5 月 9 日	(協議事項) ・平成 23 年度 年度実績について
第2回	6 月 26 日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 23 年度事業報告及び決算報告(財務諸表等) ・平成 23 年度実績報告 ・授業料等の減免に関する規程の一部改正 ・情報セキュリティポリシー(案)
第3回	10 月 10 日	<ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)英語・中国語教育センターの設置 ・教員の任期等に関する規程の制定 ・教育課程改正に伴う設置科目数等の取扱方針

第4回	12月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 25 年度予算編成基本方針 ・平成 24 年度目的積立金取崩事業 ・任期付教員の採用に伴う規程の制定及び一部改正 (任期付教員身分等取扱規程(制定)) (職員就業規則(一部改正)) (職員退職手当規程(一部改正)) ・大学院文化政策研究科の教育課程の改正 ・大学院学則の一部改正 ・情報セキュリティ対策基準案
第5回	3月6日	<ul style="list-style-type: none"> ・諸規程の一部改正 (職員就業規則) (特任教授に関する規程) (客員教授に関する規程) (招聘客員教授に関する規程) (非常勤講師に関する規程) (特別講師に関する規程) (期間契約職員就業規程) (嘱託職員等就業規程) (非常勤職員就業規程) (職員給与規程及び教員給与規程) (職員退職手当規程) (協議事項) ・平成 25 年度 事業方針案 ・平成 25 年度 当初予算案 ・平成 25 年度 年度計画案 ・デザイン学部・学科の再編成案
第6回	3月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 25 年度 事業方針案 ・平成 25 年度 年度計画案 ・平成 25 年度 事業計画案 ・平成 25 年度 当初予算案 ・デザイン学部・学科の再編成案 ・大学院学則の一部改正 ・英語・中国語教育センター設置に伴う規程の制定及び一部改正 (学則(一部改正)) (英語・中国語教育センター規則(制定)) (組織規則(一部改正)) (英語・中国語教育センター長の任期及び選任に関する規則 (制定)) (職員就業規則(一部改正)) (退職手当規程(一部改正)) ・期間契約職員就業規程の一部改正

ウ 教育研究審議会

教育研究審議会を12回開催し、大学の教育研究に関する重要事項を審議した。

回数	開催日	議案等
第1回	4月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・研究推進委員会設置要綱の制定 ・教職課程委員会規程の制定 ・進路委員会設置要綱等の制定
第2回	5月10日	(協議事項) <ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度 年度実績
第3回	6月14日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度事業報告及び年度実績 ・情報セキュリティ基本方針 ・国際交流委員会設置要綱の一部改正
第4回	7月5日	<ul style="list-style-type: none"> ・知的財産ポリシーの制定
第5回	8月2日	<ul style="list-style-type: none"> ・学会の開催
第6回	9月6日	(報告事項のみ)
第7回	10月4日	<ul style="list-style-type: none"> ・(仮)英語・中国語教育センターの設置 ・教育課程改正に伴う開講授業科目数等の取扱い
第8回	11月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度学年暦
第9回	12月6日	<ul style="list-style-type: none"> ・長期履修制度の導入 ・学会の開催 ・情報セキュリティ対策基準案 ・文化政策研究科教育課程改正
第10回	1月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・学会の開催
第11回	2月7日	<ul style="list-style-type: none"> ・ブルゴーニュ大学国際フランス語センターとの交流協定締結 ・湖西大学校からの交換留学生受入れ及び派遣
第12回	3月7日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度事業方針及び年度計画 ・大学及び大学院学則の一部改正 ・英語・中国語教育センター規則の制定 ・インドネシア・アイルランガ大学との交流協定締結

エ 参与会

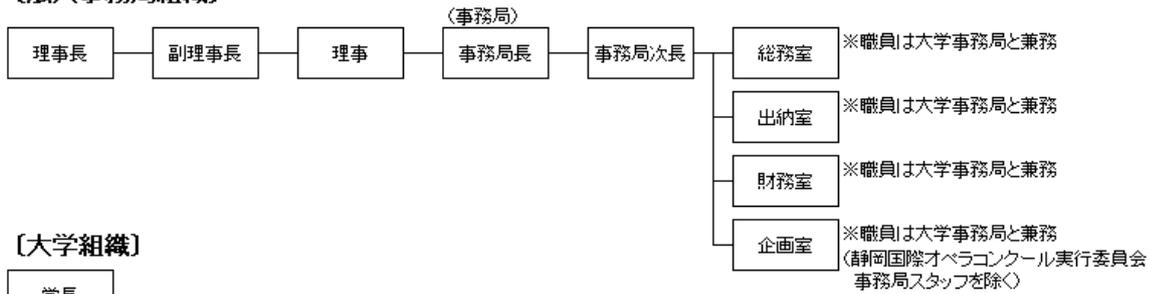
法人及び大学の運営に関する外部の意見を反映するため、参与会を2回開催した。

区分	開催日	提案された主な意見等
第1回	10月10日	<ul style="list-style-type: none">・語学力強化のための留学生の積極的な受入れ・社会で活躍している卒業生の積極的な活用
第2回	3月6日	<ul style="list-style-type: none">・パソコンに偏重せず、自分で調べる、自分で文章を書く・校正する等の力を持つ学生の育成・教育課程改正、デザイン学部・学科の再編成等の学外への周知の徹底

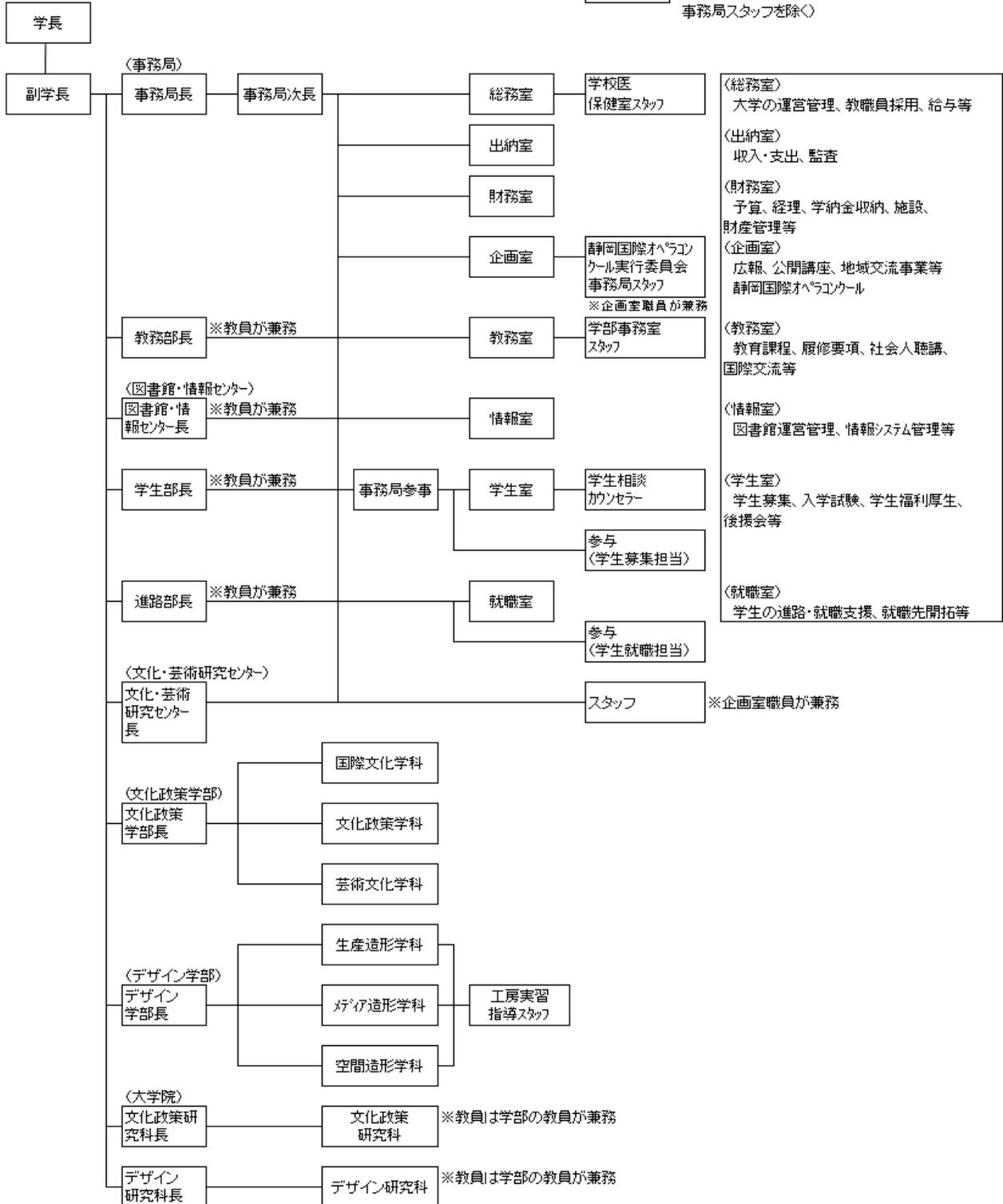
(2) 法人及び大学組織

法人及び大学組織とし、それぞれに職員を配置し、法人及び大学運営を執行した。

【法人事務局組織】



【大学組織】



(3) 運動場用地の借用等

- ・所在地：浜松市北区初生町（県有地） ・面積：8,584 m²
- ・賃借料：無償

(4) 教職員住宅の確保

ア 所有住宅

- ・名称：ビオラ田町（浜松市中区田町） ・戸数：25戸

イ 借上住宅

ビオラ田町に入居できない教職員で、教職員住宅を希望する者に対して、4戸の借上住宅を提供した。

(5) 校舎管理

ア 大学校舎の警備、清掃及び設備管理等を業者委託により実施した。

a 主な委託業務内容

警備業務：24時間体制の有人による警備

清掃業務：床、窓、トイレ等の定期的な清掃

設備管理：中央制御監視又は遠隔操作等による24時間管理体制、設備保守等は有人による管理

b その他：電話、電気、消防用施設、昇降機、植栽等の管理業務を委託

イ 施設・設備の整備

建物の劣化診断を実地調査し、実態に即した長期保全計画のデータ修正・更新を行い、中期保全計画を策定した。

2 教育研究の実施

(1) 授業実施等

ア 学生の状況（学部）

（平成24年5月1日現在）

学部名	学科名	定員(人)	学 生 数 (人)						
			1年生	2年生	3年生	4年生	合 計		
							計	男子	女子
文化政策学部	国際文化学科	100	111	105	108	117	441	76	365
	文化政策学科	50	56	64	55	71	246	84	162
	芸術文化学科	50	57	60	58	73	248	37	211
	小計	200	224	229	221	261	935	197	738
デザイン学部	生産造形学科	40	47	42	42	51	182	49	133
	メディア造形学科	30	36	37	36	36	145	28	117
	空間造形学科	30	33	33	34	43	143	44	99
	小計	100	116	112	112	130	470	121	349
計	300	340	341	333	391	1,405	318	1,087	

イ 学生の状況（大学院）

（平成24年5月1日現在）

大学院	定員(人)	院 生 数 (人)				
		1年生	2年生	合 計		
				計	男子	女子
文化政策研究科	10	5	14	19	4	15
デザイン研究科	10	12	13	25	14	11
計	20	17	27	44	18	26

ウ 授業日程等

日 程	授業等
4月 5日	入学式
6日	開学記念式（開学記念日：4月13日）
10日	前期授業開始
8月4・5日	オープンキャンパス（参加数：1,970人）
8月10日	前期授業終了（集中講義等も含む。）
10月 1日	後期授業開始
11月3・4日	碧風祭
2月19日	後期授業終了（集中講義等も含む。）
3月15日	卒業式

エ FD（ファカルティ・ディベロップメント）の取組み

教育・FD委員会において、組織的に教員の授業改善・教育の質の向上の意識啓発を図るとともに、効果的なFD活動を実施した。

- ・学部情報交換会の実施
- ・授業公開・授業見学の実施
- ・学科・研究科FD研修会の実施
- ・FDニュースレターの発行
- ・他大学等の情報収集と研修への参加
- ・新任教員研修の開催
- ・授業に関するアンケートの実施

オ 教育課程の改正等

- ・学部の教育課程改正基本方針に基づき、平成27年度からの施行に向けて、その改正作業に取り組んだ。
- ・英語等の語学教育の充実強化を図るため、平成25年度から英語・中国語教育センターを設置することとし、そのための教育プログラムの検討、教員の採用、設備の整備等を行った。また、平成24年度入学者全員にTOEICブリッジテストを実施し、その結果に基づいた習熟度別クラスを編成し授業を行った。

（2）科目等履修生及び社会人聴講生の受入れ

ア 受入時期 年2回（出願時期 前期：2月、後期：8月）

イ 受入人数 1科目につき5人程度

ウ 履修科目 本学開設科目のうち、科目等履修生及び社会人聴講生公開科目

エ 履修期間 原則6ヶ月以内

オ 受講者数 (人)

区 分	前 期		後 期	
	実人数	延人数	実人数	延人数
科目等履修生	0	0	0	0
社会人聴講生	130	168	129	154
計	130	168	129	154

(3) 教員研究の実施

学内特別研究費の配分方針に基づいた配分及び外部資金の活用等により、積極的な研究の推進を図った。

ア 学内特別研究費による研究

ユニバーサルデザイン等の3つの重点目標研究領域を設定し、組織的、戦略的な研究活動を推進するとともに、学長等特別研究費による研究を実施した。

・学長等特別研究費による研究件数 21件 配分額 35,444千円

イ 外部資金を活用した研究

科学研究費補助金を活用した研究を実施した。

・実施件数 22件 13,966千円

(新規採択1件、継続10件、他機関からの転入0件、他機関研究者との分担研究11件)

ウ 共同研究及び受託研究等

外部機関との共同研究、外部機関からの受託研究及び受託事業を実施した。

・共同研究 1件 500千円 (電動工具の人間工学的研究)

・受託研究 1件 800千円 (Flashによる全方位動画コンテンツ配信技術のPC以外のデバイスへの応用研究)

・受託事業 5件 6,094千円 (富士山静岡空港周辺地域“理想のまちづくり”イメージパース作成ほか)

3 大学広報及び学生募集

本学に相応しい学生を確保するため、新聞掲載等の各種広報や学校説明会等の学生募集事業を実施した。

平成24年度入試の結果概要及び25年度入試の実施方法の周知を広報内容の重点とし、またオープンキャンパスにおいては、入試概要説明のコーナーや個別受験相談のコーナーを設置するなど効果的な広報を行った。

(1) オープンキャンパスの実施

ア 開催日 8月4日(土)及び8月5日(日)

イ 事業内容 大学説明、学科説明、模擬授業、受験相談、実技講習会等

ウ 参加対象 高校生を中心とした受験生

エ 参加者数 1,970人

(2) 高校訪問等

教職員が県内外の高校等を訪問し大学のPR等を積極的に行った。(延べ1,619件)

また、静岡県内国公立大学合同入試説明会(年間7回、三島・静岡・浜松・豊橋にて開催)に参加し、本県の東部地区及び愛知県三河地区を重点対象地区として積極的に広報を行った結果、当該地区から昨年度より多くの入学者を確保することができた。

(県東部地区23人(H24)→28人(H25)、愛知県70人(H24)→75人(H25))

(3) 広報媒体による大学広報

新聞、受験雑誌、掲示広告等により入口(入学者募集)・中身(教育研究、学生生活)・出口(就職支援)に係る広報を実施した。

(4) パンフレット等の作成

受験生向け・一般向けの大学パンフレット、大学院パンフレット、卒業研究制作作品集(カレンダー形式)、ニューズレター(新聞記事集)等を作成し、高校や予備校等に配付した。

(5) Webサイトによる情報提供

入試情報やイベント開催情報、本学学生の活躍の様子を掲載した。また、より使いやすくなりやすいWebサイトとするためのリニューアルを実施し、平成25年4月1日から公開することとした。

(6) 大学院の学生募集

研究意欲のある優秀な院生を確保するため、デザイン研究科において、前年に引き続き学内推薦入試を実施し、この入試制度による入学者を1名得ることができた。

4 入学試験の実施

(1) 学部学生

ア 募集人員 300人（入学定員と同数）

イ 募集方法 一般選抜（前期日程・後期日程）、特別選抜（推薦入試、社会人入試、帰国生徒入試、外国人留学生入試）

ウ 試験時期

区 分		文化政策学部	デザイン学部
一般選抜	前 期 日 程	2月25日、26日	
	後 期 日 程	3月12日	
推薦入試		11月24日	
社会人入試		11月24日	
帰国生徒入試		11月24日	2月25日
外国人留学生入試		2月16日	2月25日

*大学入試センター試験は、1月19日・20日 *試験会場はすべて本学

エ 入学試験結果

志願者数 1,877人（志願倍率 6.26倍）

合格者数 404人、入学者数 342人

(2) 大学院生

ア 募集人員 20人（入学定員と同数）

イ 試験時期

区 分		試験時期
学内推薦	デザイン研究科	6月15日
A日程	デザイン研究科	7月28日
B日程	文化政策研究科	9月15日
C日程	デザイン研究科	2月16日
	文化政策研究科	

ウ 入学試験結果

志願者数 24人（志願倍率 1.20倍）

合格者数 18人、入学者数 16人

5 学生の支援等

(1) 進路等支援

キャリアオフィスの機能（学生の就職相談及び就職情報の提供等）の充実を図るとともに、学生の円滑な就職活動を支援するための事業を実施した。

<第10期生の就職状況>

(平成25年3月31日現在)

	卒業者数 (人)	就職希望者数 (人)	内定者数 (人)	内定率 (%)
文化政策学部	228	199	187	94.0
デザイン学部	114	93	84	90.3
計	342	292	271	92.8

ア 支援体制

就職情報の収集や発信の拡充等を図り、学生の就職活動の中心拠点となるようキャリアオフィス機能を充実した。

a 個別面談の実施

3年生全員を対象に個別面談を行い、進路指導をするとともに、面談結果を踏まえた個別の就職支援を実施した。

b 就職ガイドブック等の配布

就職活動の仕方などを記載した「就職ガイドブック」、内定者の報告をまとめた「就職活動体験記」を作成し、3年生及び教職員に配布した。

イ 支援事業の実施

a 企業等訪問及び情報交換会等の実施

県内外の企業等の訪問を行い、就職先の開拓等を図った。なお、企業訪問を担当する専門職員により、愛知県等の県外企業への就職先の開拓や情報収集を実施した。

また、教職員の引率による企業訪問・企業見学を行い、学生の就職意識の高揚を図るとともに、企業等の人事担当者を招き、教職員等との情報交換会を開催した。

(26社、37人の人事担当者が参加)

b 求人依頼

静岡県内企業を中心に、全国7,166社に求人票・大学概要パンフレットを送付し、就職先の開拓を図った。

c 就職ガイダンス等の実施

- ・学内就職ガイダンスの実施(全7回実施)

- ・進路支援ワークショップの開催

企業の若手社員等を本学に招き、学生との座談会を開催した。

(9業種の企業等から講師が来校し、延302人の学生が参加)

- ・合同会社説明会

企業(31社)の採用担当者を招き、合同で会社説明会を開催した。

(176人の学生が参加)

- ・浜松地域企業セミナーの開催

愛知県と県西部地区の8大学が合同で行う企業ガイダンスに参加した。

(36人の学生が参加)

- ・県外の就職ガイダンスへの参加

首都圏で行われる大規模な就職ガイダンスに数多くの学生が参加できるよう、バスを手配し参加を促した。(35人の学生が参加)

d 就職支援講座の実施

- ・ビジネスマナー講座(全3回実施)

身だしなみ、マナー、メイクの仕方などについて指導する講座を実施した。

- ・学生の資格取得講座等の実施

就職活動に必要な資格取得講座及び就職支援講座を本学にて開催した。

講座名	区分	受講者数(人)
公務員試験直前講座	教養科目	41
	専門科目	15
公務員試験対策講座	教養科目	17
	専門科目	12
パソコンのMO S 試験対策講座		76
模擬面接・グループディスカッション講座		185
簿記 3 級試験対策講座		28
ファイナンシャルプランナー 3 級試験対策講座		27

・ 就職関連試験の実施

試験名	受験者数(人)
適性検査 (CAREER APPROACH)	315
筆記試験対策	163
エントリーシート対策テスト	289
TOE I C 学内団体試験	604
秘書検定学内団体試験	64

e 求人情報等の案内

学生が企業情報を収集しやすいよう整備を図った。

- ・ 企業毎のファイルにより、会社案内、求人情報を閲覧できるよう整備
- ・ 過去の卒業生の就職活動報告書をファイル化し、閲覧できるよう整備
- ・ 50 万社の企業情報が収録された C D - R O M を整備
- ・ 本学に届いた求人情報を W e b 上で検索できる環境を整備

f デザイン専門職への就職支援

デザイン専門職を応募する際に必要なポートフォリオの作り方について、ポートフォリオ講座を実施した。

g 首都圏等での就職活動拠点の整備

学生が首都圏や名古屋等で就職活動をする際の拠点施設として、民間サービスを利用した支援を行った。

(2) 学習支援

図書館の開館時間の延長、学生がインターネットによって英語及び中国語を学内外で学習することができるシステムの活用、学習支援に係る奨学金を支給するなど、学生の学習環境整備や支援等を実施した。

(3) 生活支援

原子力災害による被災学生及び経済的に困難であると認められる学生に対する学納金の減免の実施、カウンセラーによるメンタルヘルスの相談など、学生生活の向上に向けた支援を実施した。

(4) その他

「静岡文化芸術大学の学生の諸活動に対する支援の取扱方針」を制定し、学生の諸活動に対して、12 件 2,594 千円の支援を実施した。

6 交流事業等の実施

(1) 文化・芸術研究センター事業

両学部の有機的な連携のもと、文化、芸術分野の研究、交流、情報発信などの事業を実施した。

ア 文化芸術セミナー、公開講座の開催

・セミナー、シンポジウム

開催時期	4月20日	6月2日,7月21日,11月10日,2月23日	10月19日	12月1日
開催場所	中講義室	中講義室他	中講義室	富士宮市民文化会館
開催内容	ストリート・パフォーマンス『旅』 プレトーク 「ペソアとタブッキの肖像」	多文化こども教育 フォーラム	シンポジウム 見えるものと見えないもの ～能をめぐって～	放鷹文化講演会 「富士と鷹狩」
参加者数(人)	50	258	50	100
開催時期	12月14日	10月20,21日	10月20,21日	
開催場所	小会議室	講堂他	講堂他	
開催内容	シンポジウム ファシズムと文学 ～下位春吉をめぐって～	シンポジウム バンバンケンバン はままつキーボードと出会うコンサートとフォーラム (9回)	講演会 バンバンケンバン はままつキーボードと出会う コンサートとフォーラム((5回)	
参加者数(人)	50	295	385	

・公開講座

区分	前期公開講座	後期公開講座
開催時期	5月26日～6月23日	9月29日～10月27日
開催場所	大講義室	中講義室
開設講座数	1講座	1講座
テーマ	イタリアの創造力 ～デザイン、芸術、産業～	文化とデザインの時代IV ～ミュージアムの時代～
開催回数(回)	5	5
受講者数(人)	延べ499	延べ175

・地域貢献特別講座

開催時期	11月30日
開催場所	講堂
開催内容	デザイン力と地域貢献
参加者数(人)	250

・公開工房

区 分	夏季公開工房	春季公開工房
開催時期	8月18, 19, 25日	3月16日, 17日
開催場所	自由創造工房	自由創造工房
開設講座数	4講座	4講座
テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・木炭デッサン ・LEDで光るニッチ ・揺れる彫刻(モバイル) ・テキスタイル(手織り) 	<ul style="list-style-type: none"> ・木炭デッサン ・和紙で作るペンダント ・揺れる彫刻(モバイル) ・テキスタイル(手織り)
開催回数(回)	5	4
受講者数(人)	延べ26	延べ41

イ 産学官連携の推進

・第5回研究・開発成果発表会への参加

開催時期	6月11日
開催場所	アクトシティ浜松研修交流センター
発表内容	STLCAMの加工評価に関する研究
出展内容	大学紹介パネル展示、各種パンフレット配布
参加者数(人)	133
主 催	静岡県、静岡大学、静岡文化芸術大学ほか

・第6回ビジネスマッチングフェア in Hamamatsu 2012への出展

開催時期	7月24日～25日
開催場所	アクトシティ展示イベントホール
出展内容	大学紹介パネル展示、各種パンフレット配布
参加者数(人)	参加企業等260団体、来場者数延べ8,150
主 催	浜松商工会議所、浜松信用金庫

・オプトロニクスフェア2012 in Hamamatsu への出展

開催時期	10月24日～26日
開催場所	アクトシティ展示イベントホール
出展内容	大学紹介パネル展示、各種パンフレット配布
参加者数(人)	参加企業等144団体、来場者数延べ2,611
主 催	浜松商工会議所、浜松信用金庫

ウ 地域文化事業の実施、協力

・室内楽演奏会

(バンバンケンバンはままつ キーボードと出会うコンサートとフォーラム)

開催時期	10月20, 21日
開催場所	講堂他
開催内容	鍵盤楽器演奏会 (39回)
参加者数(人)	延べ3,350

・薪能

開催時期	10月3日～4日
開催場所	講堂、出会いの広場
内 容	第一夜：能講座 第一部 能講座・第二部 座談会 第二夜：薪能公演 狂言「地蔵舞」、能「玄象」
参加者数(人)	延べ710

エ その他

ニューズレター「文化と芸術」の発行

文化・芸術研究センターを拠点に行っている研究の成果や、活動内容を紹介するニューズレター「文化と芸術」を年2回（9月と3月に各1500部）発行した。

(2) 国際交流事業

国際交流の推進を図るため、次の事業を展開した。

大学名（国名）	事業内容
湖西（ホソ）大学校（韓国）	交換留学派遣 24.8～24.12/2人 25.2～25.6 /1人
上海工程技術大学（中国）	（東日本大震災の影響により、23年度に引続き中止）
浙江大學城市学院（中国）	交換留学受入・派遣 〈受入〉 24.9～25.8/2人 24.9～25.2/1人 〈派遣〉 24.9～25.3/2人 教職員、学生交流訪問団派遣 24.9.10～24.9.14/ 学生12人、教職員4人
フィンドレー大学（アメリカ）	留学生派遣 24.8～24.12/5人
ウェールズ大学トリニティ・セント・デイビット（イギリス）	留学生派遣 24.9～24.12/8人 国際交流課代表者来学 24.7.10～7.11/1人

(3) 大学の地域開放事業

本学の設置理念である“開かれた大学”の実現を図るため、次の事業を実施した。

a 図書館の開放

実施日	月曜日～土曜日（原則）
実施内容	利用対象者 20才以上の静岡県内在住・在勤者等 利用時間 平日：8時45分～20時、土曜日：10時～16時 利用範囲 図書の見学、貸出等 登録者数 586人（平成25年3月末現在） 利用者数 6,677人/年 貸出冊数 2,423冊/年

b 自由創造工房の開放

実施日	月曜日～金曜日（原則）
実施内容	利用対象者 中学生以上 工房の内容 手織り、木工等の創作活動 登録者数 109人（平成25年3月末現在） 公開工房を夏休みと春休みに開催（参加者数 8月26人、3月41人）

c 施設見学

小・中・高校生、市民、学外機関等を対象に年間を通じて施設見学を実施するとともに、「県民の日」事業として大学施設を公開した。24年度には1,712人の見学があり、うち小・中学校の総合学習（ユニバーサルデザイン施設見学）の場として、8校から909人（引率者除く）の児童・生徒を受け入れた。

7 図書館・情報センター事業

図書等の購入のほかに、企画展示、図書館・情報センターだより「温故知新」を刊行し、県内公立図書館での配布等を実施した。また、新入生全員を対象に必修科目「文化芸術総合演習」（導入教育）の中で「資料探索法」を行い、図書館の活用法やデータベースの利用法についての講義及び館内ツアー等を実施した。

運営面では、開館時間の延長（開館時刻の繰り上げ・閉館時刻の繰り下げ）を試行的に実施したほか、資料収集の基準となる「静岡文化芸術大学図書館・情報センター資料収集方針」を策定した。また、学術リポジトリ構築に向けて要綱策定等の準備を進めたほか、図書館システム、自動貸出返却装置及び所蔵検索用PCを更新した。

・図書館資料所蔵数 (平成25年3月31日現在)

区分	図書(冊)	視聴覚資料(点)	雑誌(種)
日本語資料	192,424	6,052	2,694
外国語資料	26,253	698	337
合計	218,677	6,750	3,031

・図書館利用状況 (平成24年度)

区分	入館者数(人)	貸出冊数(冊)	開館日数(日)
総数	119,113	36,262	281
(うち学生)	106,167	29,599	—

・他の図書館との相互協力 (平成24年度)

区分	資料貸借(件)	文献複写(件)	備考
依頼	93	539	資料貸借：学生53% 文献複写：学生66%
受付	70	198	—
合計	163	737	—

8 情報システム等の整備

(1) 学内ネットワーク装置の更新

学内ネットワークサーバ、ネットワーク機器等の更新を行った。

(2) 事務システムの更新

図書システムの更新を行った。

9 自己点検・評価の実施

(1) 全学的な点検・評価

平成 24 年度は、本学独自に実施している 3 年に 1 度の全学的な自己点検・評価の年にあたり、自己点検・評価を実施するとともに、その評価結果を平成 25 年度の年度計画及び予算等に反映した。

(2) 学生による授業評価

学生による授業アンケートを前期・後期に実施し、その結果を教員にフィードバックするなど授業改善を図った。また、学生の授業評価に対するコメント集を作成し、学生の授業に対する姿勢や態度等への反省や、授業への期待・意欲を高める機会とした。

・平成 24 年度後期分の概要

区分	内 容 等
対象科目	後期科目 299 科目のうち 284 科目（ゼミ、卒論等を除く）（実施率 95.2%）
質問項目	「学生自身の取組」「授業の内容や理解」「学習の成果」「授業の運営」「総合評価」「自由記述」など 10 問程度
回答率	69.0%
総合評価	4.3< 5 点満点での評価による>

10 SD（スタッフ・ディベロップメント）への取組み

事務職員の研究・研修助成制度の活用促進、公立大学協会や日本能率協会等の外部団体主催の研修会に積極的に参加して SD 活動の推進を図った。

11 防災対策の実施

(1) 防災訓練の実施

津波等を想定した実践的な防災訓練を実施した。

(2) 安否確認システムの導入

災害時における学生・教職員の安否状況の迅速な把握のため安否確認システムを導入し、教職員を対象に試行的な運用を実施した。

12 ハラスメント防止対策の実施

ハラスメントを防止するため、意識の啓発、相談体制の充実、教員、事務職員及び相談員等それぞれを対象とした研修会を実施した。

24年度 事業別執行額の状況

(千円)

大区分	中区分	事業区分	決算額	内容	
教育研究経費	教育経費	学生募集経費	18,900	受験情報誌等広告、説明会開催経費ほか	
		入試経費	16,684	募集要項・試験問題作成費、試験実施経費	
		FD活動経費	1,496	学科別研修会開催経費ほか	
		学生経費	47,344	教材購入費、教育備品修繕費ほか	
		教育施設等修繕・管理経費	222,073	水道光熱費、設備管理委託費ほか	
		工房系教室情報システム経費	91,286	情報システム機器リース経費	
		学生支援経費	28,333	授業料減免、奨学金給付経費ほか	
		就職支援事業費	18,499	企業等訪問、就職ガイダンス、開催経費ほか	
		地域貢献事業経費	8,740	自由創造工房開放、公開講座、実施経費ほか	
		国際交流事業費	8,225	外国大学との交流事業経費ほか	
	研究経費	教員研究費	135,166	専任教員の教員研究費ほか	
		文化・芸術研究センター管理運営経費	1,086	印刷物発行経費、センター管理経費ほか	
		教員研修費	941	専任教員の国内外での研修費	
	教育研究支援経費	図書館経費	37,135	図書館施設管理費、図書購入費ほか	
		情報システム経費	133,783	情報システムのメンテナンスほか	
	教員人件費	教員人件費	877,975	専任教員等の人件費	
		非常勤教員経費	67,324	非常勤講師等の報酬	
	一般管理費	管理経費	大学広報経費	36,403	大学パンフレット作成費、広告、掲載経費ほか
			教職員住宅経費	18,599	職員住宅維持管理費、借上住宅賃借料ほか
			施設・設備等修繕・管理経費	21,448	施設修繕費、警備、設備管理、委託費ほか
大学運営一般管理費			43,400	事務局消耗品、電話料、複写機、使用料ほか	
役員報酬		53,101	常勤役員及び非常勤役員等の人件費		
職員人件費		470,354	常勤職員等の人件費		
受託研究等経費			5,680	学外機関からの受託研究、受託事業経費	
合計			2,363,974		

(参考) 静岡国際オペラコンクールに係る事務の実施

ア 第7回静岡国際オペラコンクール開催準備
審査委員及び指揮者等の候補者選定

イ 国際音楽コンクール世界連盟総会出席及び海外歌劇場訪問

第7回コンクール開催について世界のオペラ関係者の協力を依頼

a 期 日 平成24年4月11日(水)～18日(水)(オランダ)

b 会 場 等 世界連盟総会：スヘルトーヘンボス市、
歌劇場訪問：ミュージックシアターアムステルダム、オペラ研修所アムステルダム

ウ 第4回県民オペラ「夕鶴」の開催

a 日 時 平成25年3月10日(日) 午後2時から

b 会 場 アクトシティ浜松大ホール

c 芸術監督 伊藤京子(静岡国際オペラコンクールオブザーバー)

d キャスト 光岡暁恵(第5回静岡国際オペラコンクール1位・三浦環特別賞)
水船桂太郎(浜松市出身) 高田智士(富士市出身) 加藤宏隆(袋井市出身)

e 合 唱 夕鶴児童合唱団(オーディションに合格した本県在住の小・中学生15名)

f オーケストラ 浜松フィルハーモニー管弦団

g 入場者数 1,410人

h そ の 他 特別講座3回とバックステージツアー&ゲネプロ公開の実施